

季刊せいいてんno.134

2021 春の号

●浄土真宗聖典の学習誌●



特集
聖徳太子と親鸞聖人



江戸時代の庶民的な仏教書とお説教／勸化本と商業出版 幸せてなんだろう／『ペスト』
『唯信鈔文意』／最下の悪人の救い 『蓮如上人御一代記聞書』／ほんとうの念仏

No.134

季刊

せいてん

2021.3.1(春の号)

特集

聖徳太子と親鸞聖人

- 「聖徳太子ってどんな人？」……………編集室 3
「《座談会》親鸞聖人の聖徳太子信仰とは？」……山田雅教・井上善幸・鶴見 晃・編集室 6
「聖徳太子研究の最新動向—菩薩天子としての自覚—」……石井公成 53

はじめの一步Ⅰ

江戸時代の庶民的な仏教書とお説教③

- 江戸時代前期の勸化本と商業出版……………和田恭幸 9

はじめの一步Ⅱ

幸せってなんだろう—悪人正機の倫理学—⑩

- カミュ『ペスト』—不条理と愛・慈しみの関係について……藤丸智雄 16

聖典セミナー

- 『唯信鈔文意』⑬ —最下の悪人の救い……………安藤光慈 22

せいてん誌上講演

『蓮如上人御一代記聞書』⑤

- ほんとうの念仏……………稻城選恵 30

ほとけのいる景色—アジャンター—石窟寺院 ⑨

- 「あいたくなるブツダ」……………打本和音 40

せいてん華道教室 ②

- 「華道の心—調和の美」……………弓場洋子 54

法語随想 ①

- 「本願力にあひぬれば……」……………四夷法顕 56

読者のページ せいてん質問箱①

- 「仏教界にとって明治時代はどんな時代？」……川元恵史 58

人ひとみな 私のお寺づくり①

- 「お寺の目的」……………松崎智海 63

念仏者はいま 福井唯宝寺・藤下安子さん

- 「私が出遇った仏縁②」…………… 64

西の空 心に響くことば

- ひとりごと……………榎本栄一 67

文中写真／編集室

お読みになる前に…文中に(〇〇頁)とあるのは『註釈版聖典(第二版)』、(七祖〇〇頁)とあるのは『註釈版聖典 七祖篇』のページ数を指しています。

幸せってなんだろう

— 悪人正機の倫理学 —

第17回 「カミュ『ペスト』」

— 不条理と愛・慈しみの関係について —

総合研究所副所長 藤丸 智雄
ふじまる とも お



宗教と不条理な世界に焦点をあてて、アルベール・カミュ（一九一三—一九六〇）の『ペスト』を繙きた（ひもと）と思います。新型コロナウイルスの影響で、たくさんの人に読まれているそうです。

不条理な世界の現実、宗教の愛・慈しみはどんな意味を持つのでしょうか。読者の方々に『ペスト』を手にして一緒に考えてもらいたいと思っています。

（イラスト 瓜生智子）



カミュ『ペスト』についての

ささやかな情報

第二次世界大戦直後の一九四七年、カミュ『ペスト』が発表されました。舞台は194×年。アルジェリアの地中海に望む港町オラン市。

ノンフィクションかと思わせる乾いたタッチで書かれています。ペストが最後にヨーロッパやアルジェリアを襲ったのは十七世紀のことです。二十世紀を舞台とするこの小説は完全なフィクションです。十七世紀に時代設定することも可能だったでしょうが、カミュは敢えて「今」に時代を設定し、テーマの現代性にこだわったように感じられます（二十一世紀の今も、その現代性は失われていないと思います）。

『ペスト』発表の十年後、カミュ

はノーベル文学賞を受賞します。更なる活躍が期待される中、三年後の一九六〇年に交通事故に会い、稀有な才能を持つ小説家はこの世を去りました。

『ペスト』のテーマの一つは

「宗教」

ペストは、人類に繰り返し巨大な惨禍をもたらしました。十四世紀のパンデミックでは、最大一億人ほどの死者が出たと推計されており、十七世紀にもヨーロッパで大規模なパンデミックが発生しました。

カミュは、「不条理」を説く作家であり、ペストという感染症を題材として不条理を説いています。それは同時に「パンデミックが人間に問いかけるものは何か」というテ

マともなっており、今回の新型コロナウイルスの流行に通じるものがあります。

そして本作には、パンデミックという「現実」と宗教（宗教者）との関係が重要なモチーフの一つとして出てきます。今回は、その点を中心に見ていきたいと思います。

なお、本原稿は『ペスト』のネタバレとなつていますが、ご安心ください。実は、私はマンガであらすじを理解してから『ペスト』を読みましたが、少しもその魅力を欠損することはありませんでした。それくらいの名作であります。

神にひざまずきなさい

『ペスト』には、条理を信じる人間と、不条理に生きる人間とが登場



します。前者を代表するのが、パヌルー神父です。若くエネルギーで、論文を発表する学術肌でもあることから、町の人々の尊敬を集めています。

パヌルー神父は流行の初期に、町の人々を教会に集めて説教をします。昂揚感こうようかんを隠すことなく、「あまりにも長い間、この世は悪と結んで」いたために、あなたがたは「当然の報い」を受けたのだ、神はペストによって心おこれるものを跪ひざまずかせようとしているのだと説きます。

パヌルー神父の説教によって、ペストに「神から与えられたもの」という意味が付与されたわけです。まさしく、世界に秩序があり、意味を見いだせるという立場を鮮明にしていますから、神父は世界に「条理」を見えています。神による条理ですか

ら、善悪で整合性の取れた世界とも言えます。

この説法を聞いて、オトン判事（善悪を判断する仕事）は深く共感します。そして教会に集まった人々も、いざなわれるように椅子から降りて神に跪くのです。

感染症によって死ぬとどういふ

―オトン判事の息子の場合

『ペスト』の一つのピークをなしているのが、オトン判事の息子の死です。幼い男の子はペストに感染して隔離されます。小さな命は血清の効果もあつて、長く病気に抵抗しますが、その姿がかえって見守る保健隊の人々の心を苦しめることとなります。保健隊は、ボランティアの防疫活動グループで、この物語の主人

公である医師のリウーもパヌルー神父も所属し、共に活動しています。

オトン判事をはじめとして家族は誰も看取りができません。家族も感染している可能性があるからです。オトン氏の息子は、来るはずのない家族を待ち続けた分、長く苦痛と闘えたのかも知れません。

神の愛として受け止められるか

オトン判事の息子を看取った後、医師リウーは気色けしきばんで病室を出ます。そして、心配したパヌルー神父に向かつて「あの子だけは、少なくとも罪のない者でした」と責めるように言います。

言うまでもありません。神父が説教で、悪をおかしたからペストが流行しているのだと説いたからです。

季刊せいてん

バックナンバーのご案内 (在庫分)

「プリントオンデマンド(受注生産)版」刊行のお知らせ

『季刊せいてん』の受注生産が始まりました。100号以降のバックナンバーをお求めいただくことができます。ぜひご利用ください。

【定価】1,000円+税 【取扱店】Amazon、楽天ブックス、三省堂書店(店頭申込可)
※プリントオンデマンド版は製本仕様が異なります。あらかじめご了承ください。



表紙
●特集「わが家で解決 セルフ質問箱のすすめ」より

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑩(井上見淳)「顕如と教如(下)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑤(藤丸智雄)「夜空ノムコウ」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」①(安藤光慈)
「他力信心の法義」
- せいてん誌上講演
「正信偈」②(梯實圓)
「善導大師(4)阿弥陀仏に会う」
- もう1人の親鸞⑤
「幽霊の救い」(黒田義道)

122号(春の号) 2018年3月1日



表紙写真
●チベット仏教(1)

- はじめの一步I
親鸞聖人の人間像①(山田雅教)「妻がつづった親鸞聖人の素顔」
- はじめの一步II
現代人と宗教①(福永俊哉)「宗教と学問」
- 聖典セミナー
「御文章」①(高田文英)
「聖人一流草」
- せいてん誌上講演
「正信偈」①(梯實圓)
「ご恩に報いるために」
- サンカしよう
「讃仏偈」①(若林真人・山口篤子)

102号(春の号) 2013年3月1日



表紙
●特集「お盆、その前に」より

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑩(井上見淳)「弁円」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑥(藤丸智雄)「欲望は悪か」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」②(安藤光慈)
「名号の撰化」
- せいてん誌上講演
「正信偈」②(梯實圓)
「源信和尚(1)日本浄土教の黎明」
- もう1人の親鸞⑥
「枕石の物語」(黒田義道)

123号(夏の号) 2018年6月1日



表紙
●特集「自死と念仏者」より

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑩(井上見淳)「顕如と教如(中)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう④(藤丸智雄)「嘘は悪なのか?」
- 聖典セミナー
「歎異抄」(終)(矢田了章)
「後序一たまりたる信心」
- せいてん誌上講演
「正信偈」②(梯實圓)
「善導大師(3)仏様に認められて生きる」
- もう1人の親鸞④
「玉日姫と恵信尼さま」(黒田義道)

121号(冬の号) 2017年12月1日

128号(秋の号)2019年9月1日

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑦(井上見淳)
「善信房親鸞(二)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑩(藤丸智雄)
「不安と倫理」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」⑦(安藤光慈)
「救われるのは誰か」
- せいてん誌上講演
「正信偈」⑦(梯實圓)
- 「法然聖人(4)善悪を超えた世界」
- ほとけのいる景色③
「石窟の条件」(打本和音)



表紙 ●特集「詳しく学ぶ二河白道のたえ」より



表紙 ●特集「(名人)たちの聖典」より

124号(秋の号)2018年9月1日

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑧(井上見淳)
「金子大榮(上)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑦(藤丸智雄)
「信仰という幸福について」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」③(安藤光慈)
「(自)であらわされる他力」
- せいてん誌上講演
「正信偈」②③(梯實圓)
- 「源信和尚(2)仏さまに背きながら」
- もう1人の親鸞⑦
「一切経校合」(黒田義道)

129号(冬の号)2019年12月1日

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑧(井上見淳)
「善信房親鸞(三)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑫(藤丸智雄)
「(生きがい)から考える善悪」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」⑧(安藤光慈)
「さどりの性質—二種法身」
- せいてん誌上講演
「正信偈」(終)(梯實圓)
- 「法然聖人(5)深く信ずる心」
- ほとけのいる景色④
「日本人の見たアジャンター①」(打本和音)



表紙 ●特集「数異抄」と私」より



表紙 ●特集「(空)がわからない」より

125号(冬の号)2018年12月1日

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑩(井上見淳)
「金子大榮(中)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑧(藤丸智雄)
「最大多数の最大幸福(1)」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」④(安藤光慈)
「(今)の救い」
- せいてん誌上講演
「正信偈」②③(梯實圓)
- 「法然聖人(1)父の遺言を胸に」
- もう1人の親鸞(終)
「親鸞聖人ご臨終の言葉」(黒田義道)

130号(春の号)2020年3月1日

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑨(井上見淳)
「善信房親鸞(四)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑬(藤丸智雄)
「カレ—から考える善悪」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」⑨(安藤光慈)
「めぐまれる信心」
- せいてん誌上講演
「蓮如上人御一代記聞書」①(稲城選恵)
「めずらしいことを聞かない、説かない」
- ほとけのいる景色⑤
「日本人の見たアジャンター②」(打本和音)



表紙 ●特集「とにかくお念仏することだ—梯實圓如上をしるふ」より



表紙 ●特集「ふりかえる 平成の議論・新説・新発見」より

127号(夏の号)2019年6月1日

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑥(井上見淳)
「善信房親鸞(一)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑩(藤丸智雄)
「(いつの間にか)の倫理」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」⑥(安藤光慈)
「誰もえらび捨てない救い」
- せいてん誌上講演
「正信偈」②⑥(梯實圓)
- 「法然聖人(3)回心の内景」
- ほとけのいる景色②
「千年の閻堂」(打本和音)

●これまでの主な特集記事●

- No. 100…… 100号記念 勸学和上に聞く
①聖教の真実性と布教伝道について 梯實圓
②聖典編纂事業と『季刊せいいてん』
徳永一道・内藤知康・佐々木恵精
- No. 102…… 飛雲閣と聚楽第一聚楽第の遺構か否か
- No. 121…… 自死と念仏者
- No. 122…… わが家で解決 セルフ質問箱のすすめ
- No. 123…… お盆、その前に
- No. 124…… (名人)たちの聖典—存覚・従覚・円如—

*「季刊せいいてん」誌のバックナンバーは部数に限りがございますので、品切れの場合はご容赦願います。

お申し込み・お問い合わせは
本願寺出版社

☎ 0120-464-583
FAX 075-341-7753

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル
1冊 700円(税・送料込)

商品に払込取扱票を同梱しますので、郵便局もしくはコンビニエンスストアで料金を払い込みください。

◆『季刊せいいてん』バックナンバーのご案内(在庫分)

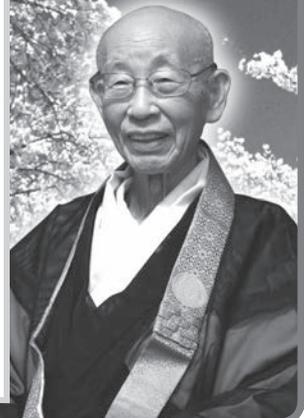
連載 クローズアップ

《せいいてん誌上講演》「正信偈」

102号~129号

梯 實圓

本願寺の碩学、故・梯實圓和上による「正信偈」の講演録です。親鸞聖人のみ教えの結晶ともいえる「正信偈」をやさしく講演いただきます。梯和上の警咳に接しているような臨場感にぜひふれてください。



季刊せいてん 定期購読のご案内

*本誌を毎号入手していただくために定期購読をお勧めします。

●年間購読料 2,800円 (税・送料込み)

▲年4回 (3・6・9・12の各月) 発行

*1部からでもお求めになれます。

●1部 700円 (税・送料込み)

※同じ号を一括して多部数お申し込みいただいた場合には、
部数割引させていただきます。(10部以上10%・50部以上20%)

・お申し込みは↓・

本願寺出版社  0120-464-583 FAX 075-341-7753
よむよ ごわさん
〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル <http://hongwanji-shuppan.com/>

編 集 後 記

◆「人ひとみな」の松崎先生、「法語随想」の四夷先生、「せいてん質問箱」の川元先生の連載がスタートしました。先生方の連載を拝見し、改めてこのコロナ禍における寺院のあり方を考えると、寺院からの単発的な大きな発信でなく、どんな小さなことでも継続的に発信を行うことが大事になっていると感じました。本誌がその一助となることを念じています。先生方の連載、どうぞお楽しみに!(J)

◆1月26日、本誌執筆者による「せいてん講座」をはじめてオンラインにて開催しました。日本国内のみならず、アメリカやブラジルからもご参加いただき、オンラインの利点を実感しました。コロナ禍で大変な世の中ですが、新たなコミュニケーションツールに可能性を感じています。(R)

◆恥ずかしながら、宗祖の聖徳太子和讃に注目したことはほとんどありませんでしたので、今号の特集は、私にとってもよい学びの機会となりました。宗祖晩年のおう盛な執筆活動にはただただ驚くばかりです。ちなみに、太子和讃は『浄土真宗聖典全書』2巻におさめられています。詳しく知りたい方は、こちらもご覧ください。(D)

◆「念仏者はいま」では、福井県唯宝寺前坊守・藤下安子さんのお話の後半をお届けしました。藤下さんは、真宗各派の方がたとの交流のなかで、『浄土真宗聖典』や多くの本に出会い、お念仏の味わいを深めて来られました。今回は特に『浄土真宗聖典』を開ききっかけをつくった「念仏ばあちゃん」との出会いとその言葉を中心に紹介させていただきました。(S)

|||||||||||| 投稿募集 |||

◆本誌に対するご感想やご意見、聖典講座についてのご質問など、ふるってご投稿ください。皆様からのお便りをお待ちしております。
◆あて先は、「〒600-8501 浄土真宗本願寺派総合研究所 季刊せいてん編集室」とご明記ください。
◆お送りいただきました原稿はお返しできません。◆掲載分には記念品をお送りいたします。

季刊せいてん

NO.134 令和3(2021)年3月1日発行

編 集

浄土真宗本願寺派

総合研究所

〒600-8349

京都市下京区堺町92番地

発 行

本願寺出版社

(浄土真宗本願寺派)

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル

本願寺門前町60番地

電話 075-371-4171

本誌記事の無断転載を禁じます。BD.04SH①3-12